

Q16

ポリオワクチン接種後約1カ月間は抜歯・扁桃摘出手術・頻回の筋肉注射を避けるように、また、口腔内に傷がある場合は接種をしないように指導されていますが、接種直後に転んで口の中に傷をつけてしまった場合はどうすればよいのでしょうか。

A

かつて、ポリオの流行時に扁桃摘出手術を行うと、損傷を受けた神経末端よりウイルスが侵入し、直接中枢神経に達し、麻痺型ポリオの発症に移行するのではないか、と危惧されたときがありました。現在ではポリオの弱毒ウイルスが口腔内の粘膜の傷口から入る可能性は考えにくいとされています。接種後に口腔内に傷をつけたのであれば外傷としての適切な処置を施すことは当然ですが、必要以上に心配することはないと思われます。他方、ポリオワクチン接種後、治療のための注射など肉体的な強い刺激とワクチン関連の麻痺と結びつけた報告もありますので、緊急ではない外科的な手術は可能な限り避けた方がよいでしょう。（参考文献：Strebel PM, et al : Intramuscular injections within 30 days of immunization with oral poliovirus vaccine--a risk factor for vaccine-associated paralytic poliomyelitis. NEJM 332 : 500 - 6, 1995）